

【実る秋】……鈴木

10月になりました。実りの秋到来です。

スポーツの話題をいくつか書きます。我らG党、5年ぶりの悲願達成致しました。興味ない方には申し訳ありません。サカマルコンビ、岡本、慎之助、若林、増田、石川、山口、中川…名前を挙げたらきりがありませんが、

それぞれの努力、苦勞…が実りました。10/9からのCSを勝ちあがって日本一へ登りつめ7年ぶりの原監督の胴上げを楽しみに待っております。

あと、ラグビーワールドカップ日本大会も盛り上がっています。日本は、1次リーグの第2戦で優勝候補の一角、アイルランドに19対12で勝ち、サモアにも快勝し1次リーグ最大の難敵を破って3連勝で、勝ち点を14に伸ばし初めてのベスト8進出に大いに期待しております。

先日宮内庁は、11月に行われる皇位継承に伴う重要祭祀「大嘗祭」で使う新米を収穫する斎田「悠紀田」を高根沢町大谷にある水田耕作者の「大田主」を石塚毅男さんに決めたと発表しました。使用するコメの品種は本県オリジナルの「とちぎの星」とのことです。私の中学校の2年後輩になりますが、何か親近感がわきうれしく思います。とちぎの星を原料米にした市内の純米酒「四季桜 とちぎの星」に注文が殺到しているとのこと。これを機に県産米の知名度が上がり、県産清酒全体にも好影響を及ぼすと期待に胸を膨らましてるそうです。やはり実りの秋ですね。

食欲の話題は、梨と柿。「豊水」はみずみずしくさっぱりした甘さが最高ですし、これから「にっこり」も店頭に並ぶかと思えます。柿に関しては、毎年知人からいただく、蜂屋がきや甲州百目を熟成させた(スプーンでしか食べられない)物を温かい部屋の中で冷やして食べるのが最高でまさに実りの秋です。



◇コンサート情報◇

佐藤しのぶさんを偲ぶ

佐藤しのぶさんが亡くなった。驚きです。何しろ8月の4日に宇都宮市文化会館小ホールで聴いたばかりでしたから。最初が1994年2月でその後、何回か聴いています。

日本人離れした容貌の持ち主であり、日本を代表するプリマドンナとして有名でした。

以下、ブログから抜粋しました。

佐藤しのぶと言えば日本を代表するソプラノ歌手ですが、彼女のリサイタルにはもう何度も足を運んでいるが、今回ちょっとびっくり。第1部は「魅惑」(トスティ)、愛の喜び(マルティーニ)、「禁じられた歌」(ガスタルドン)、カルメンより「前奏曲、ハバネラ他」でした。2部は日本の曲でした。最初が江間章子、團伊玖磨の「花のまち」。私の持ち歌なので一緒に口ずさみながら聞いていましたが、何と2番でお仕舞。3番もあるのにどうしたのかなーと不審に思ったら、團伊玖磨先生が3番は悲しいから歌わなくて良いと言われてるので省略したという。確かに急に寂しくなるが私は3番も好き、歌ってほしかった。

次が「さとうきび畑」。沖縄の戦いを歌ったのですが、沖縄の一言も出てこない。明るいいリズムですが反戦歌です。「Rememberha」は、なかにし礼。この曲は知らなかったが広島、長崎に思いを寄せるものでした。次の「約束」は若いときに雪村いづみが歌っており、心に響く反戦歌です。調べたところ、1964年(私が24歳)のヒット曲でした。佐藤しのぶが歌っているとは知らなかったので、今回久し振りに聴けて嬉しかったです。

最後は「花は咲く」。東日本大震災で被災した地域と人々を応援するために生まれた、復興支援ソング。これも私の持ち歌。

後半の作品はすべて反戦歌、復興支援曲。まさか佐藤しのぶがこのような曲を歌うとは思わなかった。彼女は日



本のプリマドンナ、ナンバーワンです。いつもキラキラした服をまとい賑やかな歌が似合うと思っていたので、今回の演奏会で彼女を見直し、また、嬉しくなりました。

一情報によると、宇都宮公演が最後になったという。病気とは全然思われなかった。ご冥福を祈りますー



今年も参加しました

【長崎、原水爆禁止世界大会】

平和祈念像、日本二十六聖人記念館(長崎キリスタン史)、福濟寺の長崎観音(1979.11完成)



むくげにちょっぴり座り込んだアマガエル。ユーモラスですね♡



イチジク(無花果)が我が家でたわわに実りました。複数の女性に差し上げたら大好評!